

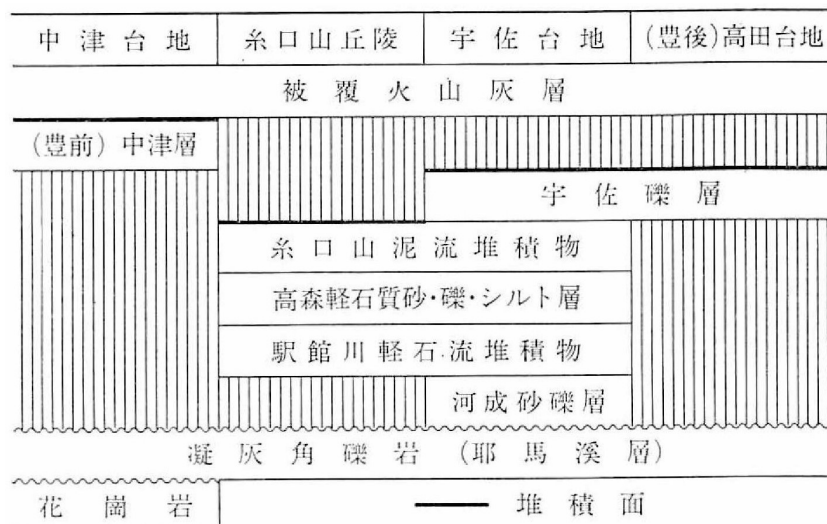
地形・地質

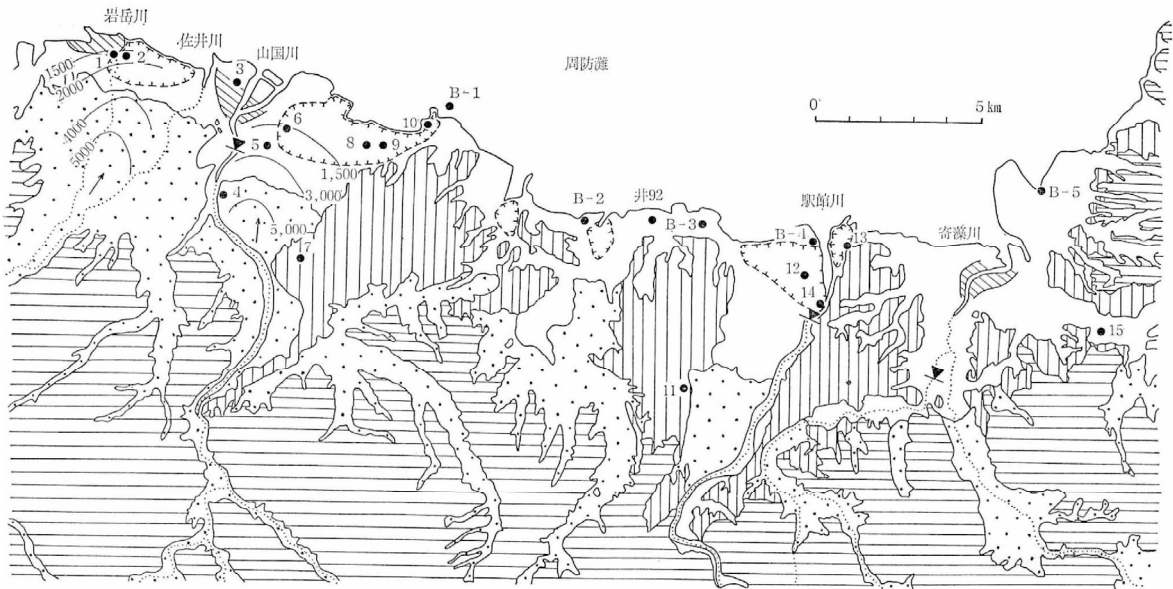
中津平野は周防灘に面し、沖積低地・扇状地および洪積段丘からなります。沖積低地と扇状地は河川沿いに発達し、各河川と扇状地に挟まれて段丘が発達します。

地下水

岩岳川・山国川・駅館川の沖積平野は、砂礫層からの揚水が可能で、寄藻川・桂川下流の沖積低地では、自噴性の被圧地下水があります。洪積段丘の深層部を構成する耶馬溪層には被圧地下水を含んでいます。

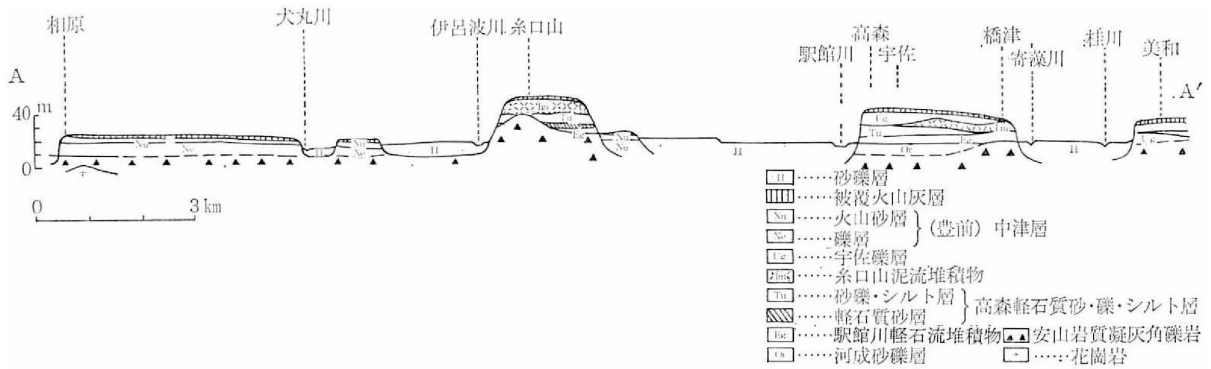
中津平野の第四系の層序





- 沖積平野 (被圧地下水の採取可能性が1井当り(孔径300%)1000~) (2000m³/dの地域)
- " (被圧地下水の採取可能性が1井当り(孔径300%) (500m³/d未満の地域)
- 沖積扇状地・低位段丘・谷底平野 (不圧地下水(浅井戸)の採取可能性が1井当り(大口径)100m³/d未満の地域)
- 洪積台地および第三紀層からなる丘陵地 (被圧地下水の採取可能性が1井当り(孔径300m/m)100m³/d未満の地域)
- 火山岩類および花崗岩などからなる山地 (被圧地下水の採取が困難な地域)
- 3000 不圧地下水の水比抵抗等値線(単位Ω・cm)
- 地下水の流動方向
- 3 さく井または地質ボーリング井の位置
- ▲ 塩水の潮上限界
- 地下水の水質が悪い地域

中津平野の水文地質図



中津平野の模式断面図

出典 日本の地下水(農業用地下水研究グループ,1986)(一部加筆)

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.iagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html> (日本地下水学会)